国家戦略会議フロンティア分科会 「幸福のフロンティア」部会 第三回 報告資料

「幸福」な時代と、その終わり?

古市憲寿(東京大学大学院博士課程) 2012年3月1日

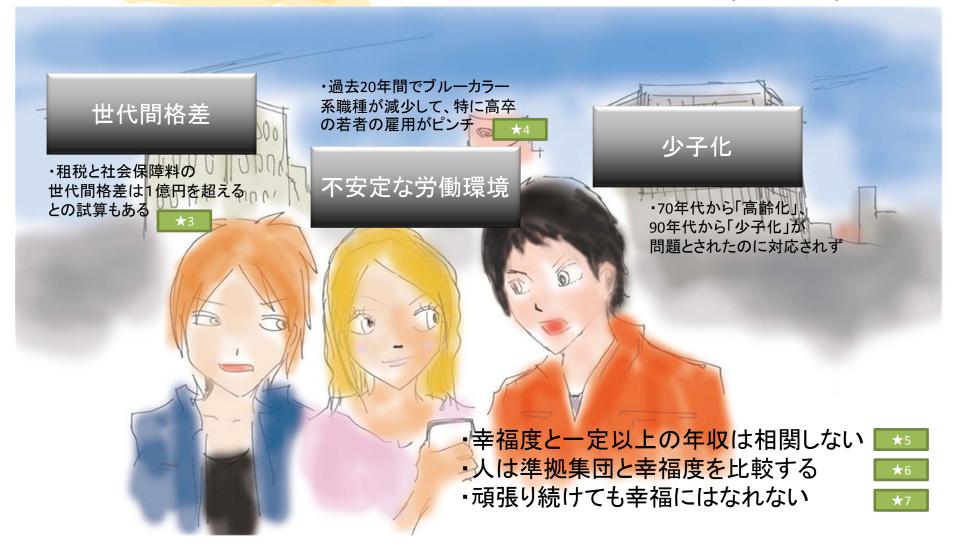
20代の生活満足度73.5%(2011年)



★1

2012 Japan

20代の生活満足度73.5%(2011年)



2050 Japan

階級社会化、将来へのあきらめにより 人々の幸福度は上昇「まあ、こんなものだろう」

New rich

高層マンションが事実上の ゲーティッドコミュニティ化

かつてのシンガポールを真 似て、富裕層中心に移民を 受け入れるもうまくいかない

New poor

最低賃金は撤廃されたが、電子マネー

New middle

優秀な若者はムンバイなど 海外へ出稼ぎへ行く

> インフラ維持のため 都市に人口は集中している

安楽死を待つ老人のような「幸福国家」

により使用用途が制限されたベーシッ クインカム給付により治安は悪化せず 休憩中の楽しみはネットワークゲーム。 翻訳技術の発達により世界中の人とつ ながることができる。

公営病院には長蛇の列がで き、医療の質も下がる

今できること(1)

今度こそ少子化対策に本気になる

合計特殊出生率1.4の社会は前代未聞。団塊ジュニアが出産可能年齢を終えるこの5年が最後のチャンス。

女性が働きやすい職場の整備

現役世代への社会保障の拡充

配偶者控除、婚外子差別の見直し

育児休暇の拡充、現物 手当の充実

子ども・家族向け福祉と 高齢者向け福祉の割合 は出生率と有意に相関

民法見直しがすぐに難しいなら寡婦控除を給付に よる保障にする

育児産業の発達・雇用創出

働きながら子どもを 産む女性が増えると...

★10

納税者数の増加

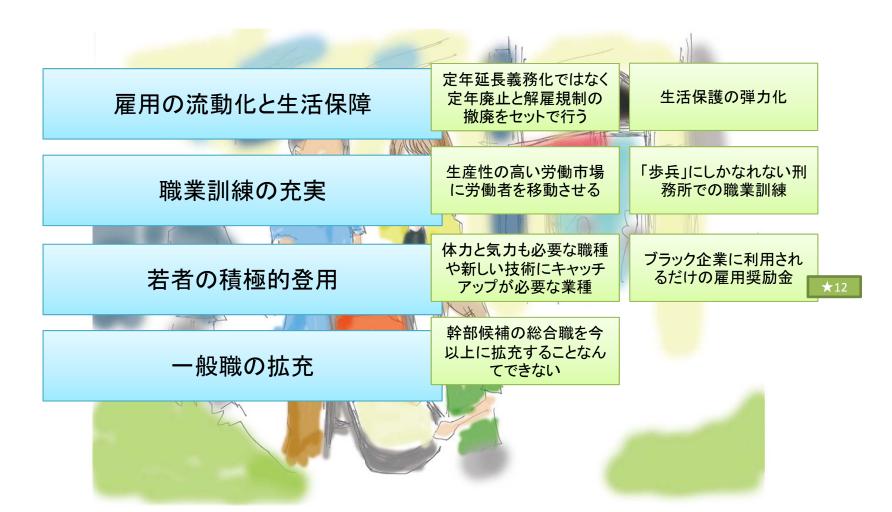
日本の納税者 数4590万人

★11

世代間格差の是正

すぐにできること(2)

社会的弱者に対するエンパワーメント



そのうちできること(3) 日本版チャーターシティの導入

憲章都市・・・「憲章」を定めて、特区として一から都市を作る 試み。経済学者のポール・ローマーがホンジュラスに計画。

福祉が手厚い代わりに 消費税が高い都市

【これからの日本】

治安維持、少子化対策、貧困対策などベーシックなサービスは国家が担う一方、都市ごとに社会保障や税制を含めた大胆な実験を うながしていく

国際農業都市

自然エネルギー都市

都市内の企業に対する投 資に課税されない国際競 争力を保持する都市

「日本」という枠組みで政策を考えることの限界

【今までの日本】

- ・過剰なユニバーサル サービスを提供
- ・一部の人は過剰に保 護され、本当に必要な 人に福祉が回らない
- 高度成長期に構築されたモデルに対応できていない

2050 Japan

都市の時代である2050年、日本では複数の「中心都市」が世界の優秀な人材を集めている

高い教育水準、治安の良さ、 高度なインフラが日本の武器

> 都市を移動することによって 人生を選ぶことができる

平均寿命は100歳を突破したが、高齢者や女性であっても誰もが働ける社会

公的年金から負の所得税へ

2050 Japan with happiness?

「幸福」は人によって違う。 2050年の日本には、多様な「幸福」を選べる社会になっている。



参考文献

- ★1 内閣府「国民生活に関する世論調査」
- ★2 山田昌弘『パラサイト・シングルの時代』ちくま新書、1999年、古市憲寿『絶望の国の幸福な若者たち』講談社、2011年
- ★3 加藤久和『世代間格差:人口減少社会を問い直す』ちくま新書、2011年など
- ★4 総務省統計局「労働力調査」
- ★5 大竹文雄他編『日本の幸福度:格差・労働・家族』日本評論社、2010年など
- ★6 Powdthavee, Nick. (2010) The Happiness Equation: The Surprising Economics of Our Most Valuable Asset. Icon Books Ltd.
- ★7 ジェイン・マクゴニガル著、妹尾堅一郎監訳『幸せな未来は「ゲーム」が創る』早川書房、2011年
- ★8 東浩紀『一般意志2.0』講談社、2011年
- ★9 本川裕『統計データはおもしろい!』技術評論社、2010年など
- ★10エスピン・アンデルセン著、大沢真理監訳『平等と効率の福祉革命:新しい女性の役割』岩波書店、2011年
- ★11 税制調査会 2011年6月第4回(2011年6月10日開催)の会議資料・主要税目の特徴
- ★12 海老原嗣男『就職、絶望期:「若者はかわりそう」論の失敗』扶桑社新書、2011年